

「広島大学工学部デジタルサイネージ(HEサイネージ)」の

ご案内

～広大工学部で情報発信しませんか～



Smart Com. City
HIROSHIMA

貴社益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。

弊社は、広島大学工学部後援会様が運営されている「工学部デジタルサイネージ事業」の
窓口業務を専任で承っております。

広島大学工学部の学生へ学内で直接貴社をアピールすることができます。

学生は入学時から日常生活の中で自然と確実に貴社広告を目にすることとなります。

工学部後援会様が設置運営されている為、後援会賛助会員への入会が必須となりますが
賛助会員様へ何らかの「会」への出席、寄付金依頼等は全くございません。

会費は直接広島大学工学部後援会様への支払いとなります。

弊社は手続をいたしますので是非ご検討いただき、ご連絡をお願いいたします。



株式会社スマートコムシティひろしま

〒732-0802 広島市南区大州1丁目5-24 田中電機工業本社内

Tel 082-536-3585

e-mail ad@scc-hiroshima.co.jp

URL <https://scc-hiroshima.co.jp>





第一類

機械・輸送・
材料・エネルギー系

第一類（機械・輸送・材料・エネルギー系）

- 機械システムプログラム ●輸送システムプログラム ●材料加工プログラム
- エネルギー変換プログラム

各種機械・機器の機能や構造の設計生産、輸送機械とそれを取り巻くシステムの総合的設計・運営、機械材料・複合材料の開発と加工技術、革新的高効率エネルギー変換技術といった専門分野に立脚しつつも、新しい分野の知識や技術も学び、それらを組み合わせて、さまざまな問題を解決できる力を持つ人を育てます。



第二類

電気電子・
システム情報系

第二類（電気電子・システム情報系）

- 電気システム情報プログラム ●半導体システムプログラム

コンピュータを中心としたシステム制御や情報管理、トランジスタや集積回路などを学び、将来必要となる新技術の開発・研究を行っています。特徴は、電気・電子という実際のモノと、情報・システムという抽象概念の2つの観点から「電気」が統括的に取り扱われることです。最終的には、時代のニーズに対応できるエンジニアの育成を目指しています。



第三類

応用化学・生物工学・
化学工学系

第三類（応用化学・生物工学・化学工学系）

- 応用化学プログラム ●生物工学プログラム ●化学工学プログラム

今の社会では、地球全体のことを考えて、人々の暮らしをもっと良くする新しい材料や物質を作り出す化学、動物・植物・微生物から役に立つものを取り出すバイオ技術、そして資源やエネルギーを作ってムダなく使う技術がとても大切になっています。さまざまな角度から物事を考えられる力を育て、最先端の技術を身につけて、社会の第一線で活躍できるプロフェッショナルを育てていきます。



第四類

建設・環境系

第四類（建設・環境系）

- 社会基盤環境工学プログラム ●建築プログラム

環境破壊が地球規模で問題となり、ますます深刻化している今世紀は、限りある資源の有効活用を図りながら、社会基盤・生活環境を持続的に整備、発展させなければならぬ時代です。未来を率先して開拓できる人材の育成を目指しています。

■ 第一類（機械・輸送・材料・エネルギー系）卒業生の進路



主な就職先（大学院修了者の進路を含む）

□製造業

●はん用・生産用・業務用機械器具製造業: ホーコス(株) / セイコーウオッチ(株) / シュルンベルジェ(株) / ダイキン工業(株) / テルモ(株) / ヤンマー(株) / (株)クボタ / (株)シギヤ精機製作所 / (株)シンコー / (株)ダイフク / (株)タダノ / (株)小松製作所 / (株)東洋高圧 / 三浦工業(株) / 三菱重工業(株) / 住友重機械工業(株) / 東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株) / 日本精工(株) / 富士機械工業(株) ●繊維工業: 倉敷紡績(株) / 東レ(株) ●鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業: JFEスチール(株) / (株)日本製鋼所 / 日軽エムシーアルミ(株) / 日鉄エンジニアリング(株) / トーカロ(株) / (株)神戸製鋼所 / 住友電気工業(株) ●電気・情報通信機械器具製造業: 日本電気(株) / 古野電気(株) / 三菱電機エンジニアリング(株) / レーザーテック(株) / アズビル(株) / 三菱電機(株) / ミネベアミツミ(株) / (株)日立製作所 / 富士通(株) / オムロン(株) / (株)日立パワーソリューションズ / (株)SCREENホールディングス / パナソニック(株) ●電子部品・デバイス・電子回路製造業: (株)村田製作所 / Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株) / ソニーセミコンダクタソリューションズ(株) / 三菱電機冷熱システム製作所 / azbil ●輸送用機械器具製造業: パナソニックテクノロジ / ダイハツ工業(株) / ヤマハ発動機(株) / (株)豊田自動織機 / ジャパンマリンユナイテッド(株) / マツダ(株) / 常石造船(株) / (株)HI / (株)シマノ / トヨタ自動車(株) / 本田技研工業(株) / トヨタ自動車九州(株) / SUBARU(株) / 川崎重工業(株) / (株)デンソー ●その他: アイリスオーヤマ(株) / 日東電工(株) / グローブライド(株) / AGC(株) / TOTO(株) / Shipping Company

□運輸業・郵便業

西日本旅客鉄道(株) / ANAエアポートサービス(株) / 日本航空(株) / 川崎汽船(株) / 東日本旅客鉄道(株) / 全日本空輸(株) / 西日本旅客鉄道(株)

□建設業

(株)新日本設備計画

□卸売業・小売業

矢崎総業(株)

□電気・ガス・熱供給・水道業

沖縄電力(株) / 北陸電力(株) / 中国電力(株) / 九州電力(株) / 東芝エネルギーシステムズ(株)

□金融業・保険業

(株)りそな銀行

□学術研究・専門・技術サービス業

日清食品ホールディングス(株) / 富葉製作所(株) / ユーソナー(株) / 三菱ケミカルエンジニアリング(株) / (国研)海上・港湾・航空技術研究所 / 東芝プラントシステム(株) / EYストラテジー・アンド・コンサルティング / TÜV NORD(タイ)

□教育・学習支援業

埼玉大学 / Yangzhou University / Zhejiang Sci-Tech University / 高知工科大学

□公務員

国土交通省 / 東京消防庁 / 広島県 / 海上保安庁海上保安学校 / 和歌山県

□情報通信業

(株)IMAGICA GROUP / (株)東邦システムサイエンス / ビーエスフジ

□サービス業

(株)アウトソーシングテクノロジー / (株)ウイルテック / (株)for A-career / 一般財団法人日本海事協会

(順不同)

■ 第二類（電気電子・システム情報系）卒業生の進路



主な就職先（大学院修了者の進路を含む）

□製造業

●はん用・生産用・業務用機械器具製造業: (株)日立産機システム / コベルコ建機(株) ●化学工業・石油・石炭製品製造業: レゾナック(株) ●鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業: 大同特殊鋼(株) / オーエスジー(株) ●電気・情報通信機械器具製造業: シャープ(株) / (株)日立製作所 / 富士電機(株) / ルネサスエレクトロニクス(株) / セイコーエプソン(株) / 日本電気(株) / パナソニック(株) ●電子部品・デバイス・電子回路製造業: Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株) / マイクロンメモリジャパン(株) / 東芝デバイス&ストレージ(株) / パナソニックインダストリー(株) ●輸送用機械器具製造業: マツダ(株) / ボッシュ(株) / トヨタ自動車(株) / Toyota Motor Engineering & Manufacturing (China) Co., Ltd. ●製造業(その他): ヤマハ(株)

□情報通信業

(株)リクルート / フューチャーアーキテクト(株) / アトラス情報サービス(株) / ソフトバンク(株) / (株)電通国際情報サービス / ベース(株) / 日本電気通信システム(株) / (株)カブコン / (株)コーエーテクモホールディングス / (株)ジャステック / デンソーテクノ(株) / (株)NTTデータMSE / (株)NTTドコモ / NECソリューションイノベータ(株) / (株)スクウェア・エニックス / (株)野村総合研究所 / (株)ジーシー / (株)エネコム / (株)NTTデータMHIシステムズ / 西日本電信電話(株) / 日鉄ソリューションズ(株) / (株)シンプレクス・ホールディングス / (株)ミラティブ / アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 / UUUM(株) / (株)アツバー / 東芝デジタルソリューションズ(株) / (株)日本総合研究所

□電気・ガス・熱供給・水道業

四国電力(株) / 九州電力(株) / SUNGROW

□教育・学習支援業

(株)アップ / 広島大学 / Northwestern Polytechnic University

□金融業・保険業

(株)新生銀行 / SMBC日興証券(株)

□学術研究・専門・技術サービス業

大和総研グループ / 電音エンジニアリング(株) / (株)カクコム / 阪急阪神ホールディングス(株) / (株)ウイルテック

□その他

(株)いえらぶGROUP

(順不同)

■ 第三類（応用化学・生物工学・化学工学系）卒業生の進路



主な就職先（大学院修了者の進路を含む）

□製造業

●はん用・生産用・業務用機械器具製造業:タカラベルモント(株) / ダイキン工業(株)

●食料品・飲料・たばこ・飼料製造業:ヒガシマル醤油(株) / 山崎製パン(株)

●電子部品・デバイス・電子回路製造業:マイクロメモリジャパン(株)

●輸送用機械器具製造業:マツダ(株) / スズキ(株)

□電気・ガス・熱供給・水道業

JERA

□建設業

レイズネクスト(株)

□情報通信業

NECソリューションイノベータ(株)

□学術研究・専門・技術サービス業

(株)アドウェイズ / 日本水工設計(株) / 王子ホールディングス(株)

□卸売業・小売業

リコージャパン(株)

□その他サービス

キリンホールディングス(株)

□教育・学習支援業

広島大学

□公務員

市原市 / 呉市 / 香川県・福島県警察

(順不同)

■ 第四類（建設・環境系）卒業生の進路



主な就職先（大学院修了者の進路を含む）

□建設業

●ゼネコン:(株)鴻池組 / 前田建設工業(株) / 鹿島建設(株) / (株)長谷工コーポレーション / 清水建設(株) / 戸田建設(株) / 青木あすなろ建設(株) / (株)大林組 / 大成建設(株) / (株)フジタ / (株)竹中工務店

●設計事務所:(株)JR東日本建築設計 / (株)久米設計 / 丹下都市建築設計 / (株)日建設計 / (株)NTTファシリティーズ / (株)大建設 / (株)石本建築設計事務所 / (株)地域計画建築研究所

●ハウスメーカー:大和ハウス工業(株) / ヤマネホールディングス(株)

●建材:(株)LIXIL

●コンサルタント:中央復建コンサルタンツ(株) / 日本工営(株) / NEXCO西日本コンサルタンツ(株) / 復建調査設計(株) / (株)福山コンサルタント / (株)建設技術研究所 / (株)長大 / ジェイアール西日本コンサルタンツ(株) / 中電技術コンサルタント(株) / (株)東急設計コンサルタント / 日本エヌ・ユー・エス(株)

●その他:(株)オープンハウスグループ / 三菱地所レジデンス(株) / NTT都市開発(株) / 伊藤忠都市開発 / 三井デザインテック(株)

□電気・ガス・熱供給・水道業

四国電力(株) / 中国電力(株) / ダイキン工業(株)

□運輸業・郵便業

西日本旅客鉄道 / 名古屋鉄道(株) / 西日本高速道路(株)

□情報通信業

(株)建設システム / (株)エヌ・ティ・ティ・データ / (株)バイナル

□製造業

●はん用・生産用・業務用機械器具製造業:(株)タダノ

●電気・情報通信機械器具製造業:東芝インフラシステムズ(株)

●その他の製造業:旭化成(株)

□教育・学習支援業

広島大学

□公務員

●国家公務:国土交通省国土地理院、国土交通省、海上保安庁

●地方公務:愛媛県、福岡市、香川県、多摩市役所

□その他

ディーゼルジャパン(株) / 丸紅(株)

(順不同)



広島大学工学部後援会は、広島大学工学部の施設等の整備・有効活用及び教育研究環境を強化することにより、工学部の価値を向上させることを目的として、広島大学工学部後援会デジタルサイネージ事業(以下「デジタルサイネージ」という。)を開始しました。

デジタルサイネージは、本事業の趣旨に賛同いただける事業者（法人、法人以外の団体又は法人等により構成された団体をいう。以下「事業者」という。）に工学部後援会賛助会員に入会していただき、その会費収入により運営します。

デジタルサイネージにより工学部の学生に向けて事業者の情報を発信することで、学生の事業者に対する認知度向上が期待できます。広島県内事業者には、学生の認知度が高まることで、広島県内事業者への就職者数が増えることにより地方の活性化に繋げることができます。

工学部後援会へのご入会をお待ちしております。



工学部後援会賛助会員について

賛助会員様には会議等の参加や
寄付等の依頼、要請はございません。

01

「デジタルサイネージ」とは

約4,000人の学生が在籍する「工学部」「情報科学部」「大学院先進理工系科学研究科」に設置するデジタルサイネージです。

「企業と学生」「企業と大学」を繋げるツールとして活用。

デジタルサイネージにより、多くの学生や教員が集まるキャンパスで企業などの情報配信が可能に！



02

デジタルサイネージ 設置場所

工学部キャンパス



講義棟 4台

- ① 工学部第二類 (電気電子・システム情報系)、情報科学部
- ② 工学部第一類 (輸送系)、第四類 (建設・環境系)
- ③ 工学部第一類 (機械・材料・エネルギー系)
- ④ 工学部第三類 (応用化学・生物工学・化学工学系)



02

デジタルサイネージ 設置場所

工学部キャンパス



研究棟 4台

- ⑤ 工学部第二類 (電気電子・システム情報系)、情報科学部
- ⑥ 工学部第一類 (輸送系)、第四類 (建設・環境系)
- ⑦ 工学部第一類 (機械・材料・エネルギー系)
- ⑧ 工学部第三類 (応用化学・生物工学・化学工学系)



03

デジタルサイネージの特徴

講義棟4台：視認性が高い、インパクトあるサイズ

約4,000人の学生が行き来する講義棟でも目を引く
横型65型の大型モニターを講義棟へ設置。

研究棟4台：訴求効果が高い、注目する場所へ設置

学部の4年生や大学院生が行き来する研究棟のエレベーターホールに32型の小型モニターを設置。エレベーター待ちで立ち止まる場所のため訴求効果が高い。

04 配信プログラム

設置台数

8台（講義棟4台、研究棟4台）

配信内容

動画又は静止画を1枠15秒（15分間隔）で配信します。
（情報発信枠最大60枠）

配信時間

平日 8:30～19:00
※年末年始など大学の休業日及び入試等大学の行事日は除く

配信期間

1年間 ※1年未満の単位を希望される場合は応相談とさせていただきます。

配信回数/ 場所

1日42回/台 以上
「02 デジタルサイネージ設置場所」に記載の全8台で配信します。※次年度以降は、配信プログラムを変更する場合があります。

05 配信の手続きについて

デジタルサイネージは、工学部後援会に入会いただいた会費収入により運営しています。

当会の趣旨にご賛同いただける方で、デジタルサイネージによる情報発信を希望される場合は、工学部後援会賛助会員に入会をお願いいたします。

06

配信までのフロー

①申込受付

- ・工学部後援会賛助会員に入会されていることが条件となります。
- ・仮押さえは行いません。
- ・賛助会員入会后にデジタルサイネージの配信をキャンセルされても会費の返却はございません。

②意匠審査

●配信開始月の前月15日まで

- ・意匠審査用の素材は、以下のとおりとします。
動画：MP4形式かMOV形式
静止画：JPEG、PNG、BMP
- ・審査には2～3日かかります。
- ・入会申込手続き時に意匠審査用の素材を一緒に提出することは可能です。ただし、年会費の入金が確認できるまでは配信できません。

③ 入稿

●配信開始月の前月22日まで

- ・入稿データは、指定のファイル形式以外は受付けません
- ・修正が無い完パケデータで入稿してください
- ・原則、入稿データの返却はしません。お申し出が無い場合は配信終了後に破棄します
- ・推奨サイズの縦横比と異なる場合は、縦横比を変えない状態で足りない部分に（上下、左右）黒帯が入ります

動 画	データ形式	MP4形式、MOV形式
	ビットレート	5M～15M bps CBR
	サイズ	16:9(アスペクト比) 横1920×縦1080ピクセル
	音声	無
静止画	データ形式	JPEG、PNG、BMP
	解像度	72dpi以上
	カラーモード	RGB
	サイズ	16:9(アスペクト比) 横1920×縦1080ピクセル

06

配信までのフロー

①申込受付

②意匠審査
(配信前月15日)③入稿
(配信前月22日)④会費の支払 (配信前月末日)
⑤デジタルサイネージ開始

企業等

賛助会員入会申込

意匠審査データ提出

入稿データ提出

会費の支払

配信開始

工学部後援会

入会審査

意匠審査

配信準備

入金確認

07

審査基準

【情報発信の内容審査】

- ・ 発信内容の審査は、以下に定める「意匠審査」を実施します。
- ・ その他、本基準にて明確に判断できない場合は、都度工学部後援会が判断するものとします。

【意匠審査】

次に該当し、または該当する恐れのある場合は配信しません。

- ・ 関係諸法規に違反しているもの。
- ・ 国際法規に違反したり信義を損なうもの。
- ・ 各業界が定めている公正競争規約や自主規制などに違反しているもの。
- ・ 発信内容の責任の所在や実態、内容が不明確なもの
- ・ 詐欺的なものや不良商法とみなしたもの
- ・ 事業者が事件を起こしていたり、社会的に糾弾されるなどして、利用者に不利益が及ぶもの
- ・ 虚偽、誇大な表現により誤認を与えるもの
- ・ 犯罪や暴力、売春、買春、麻薬、反社会的勢力などを肯定、示唆、助長、美化し、社会的秩序を乱すもの
- ・ 青少年の健全な育成を妨げるもの
- ・ 過度に射幸心、投機心をあおるものや、享乐的な面を強調しているもの
- ・ 他人の肖像や氏名、談話、著作物、などを無断で使用しているもの
- ・ 誹謗中傷や名誉棄損、プライバシーの侵害、信用毀損、業務妨害などにより、基本的人権を損なうもの
- ・ 人種、民族、国籍、出身地、性別、身体的特徴、病気、職歴、学歴、年齢、思想信条などで不当に差別するものや侮辱的な表現をしているもの、偏見をおこさせるもの、当事者の心情を損なうもの
- ・ 性に関する表現が、露骨でわいせつなもの、品位を損なうもの、不快感や羞恥嫌悪の情をおこさせるもの
- ・ 醜悪、残虐、猥褻、病気や死などに関する表現が、不快感や恐怖心を起こさせるもの
- ・ 非科学的な根拠により、人心を迷わせるものや、恐怖心や不安感を起こさせるもの
- ・ 特定の政治活動と判断したもの
- ・ 思想信条などにおいて、中立立場を欠くと判断したもの
- ・ 発信内容が係争中のもの
- ・ その他、当会の業務に、支障及び不利益を及ぼすもの
- ・ 公共空間の品位や美観をそこなうもの
- ・ 事業者の直接的な営業活動（販売等）に係るもの
- ・ その他、当会が不適当と判断したもの

08

免責事項

【情報発信内容の掲載について】

当会は、以下に該当すると判断したときは、事前告知の上、当該情報発信内容を削除できるものとし、当該広報媒体の削除によって生じた損額について、当会は一切の責任を負わないものとします。

- ・入会及び履行に際し、不正の行為を行ったとき。
- ・事業者等が、法令、当会の規約等に違反し、又はそのおそれがあるとき
- ・事業者等の社会的又は経済的信用が著しく失墜する事由が発生したとき
- ・その他、当会が当該広報媒体を削除することが必要と判断したとき

【サービスの中断・中止について】

- ・当会は、通信回線、コンピュータ、サーバーなどの障害、火災や天災地変などによる本サービスの中断、遅延、中止、データの消失、データへの不正アクセスにより事業者等に生じた損失、損害などについて、一切の責任を負わないものとします。
- ・当会は、本サービスの稼働状態を良好に保つため、事業者等に対して事前に通知を行うことなく、本サービスの全部あるいは一部の変更または、本サービスの提供の全部あるいは一部を停止することができるものとします。

【情報発信の内容について】

- ・設置しているデジタルサイネージの環境下で色彩など見え方が異なるため意図しない表示になることがあります。

【入会期間】

入会期間は原則、4月から翌年3月迄です。
継続を希望する場合は、再度入会の手続きが必要です。

【年会費】

・広島県内事業者様

4月から6月までに入会:400口(400,000円)
7月から9月までに入会:300口(300,000円)
10月から12月までに入会:200口(200,000円)
1月から3月までに入会:100口(100,000円)

※入会日:放映開始日

・広島県外事業者様

4月から6月までに入会:600口(600,000円)
7月から9月までに入会:500口(500,000円)
10月から12月までに入会:400口(400,000円)
1月から3月までに入会:300口(300,000円)

※入会日:放映開始日

●広島県内事業者様＝広島県内に本社・支店・営業所等のある事業者様

※広島大学工学部ネーミングライツ契約事業者様はガイドラインをご確認ください。

【年会費の支払い口座】

銀行名 広島銀行西条支店
口座番号 普通預金 865494
口座名 広島大学工学部後援会

銀行名 もみじ銀行西条南支店
口座番号 普通預金 0010797
口座名 広島大学工学部後援会

【審査】

- ・入会審査
- ・意匠審査

①②③の書類についてはホームページよりダウンロードで取得をお願いします。

①デジタルサイネージ概要



③デジタルサイネージガイドライン



① デジタルサイネージ概要

② 賛助会員入会申込書

③ デジタルサイネージガイドライン

②賛助会員入会申込書

広島大学工学部後援会（賛助会員）入会申込書

令和 年 月 日

広島大学工学部後援会会長 松 藤 研 介 殿

広島大学工学部後援会（賛助会員）に、関係書類を添えて下記のとおり入会の申し込みをします。

企業等名： _____

役職名： _____

氏名： _____

住所： 〒 _____

加入人数： _____ 口

事務担当部署名： _____

担当者名： _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____

☐ 工学部後援会デジタルサイネージを希望する（配信開始希望月： 年 月）

※配信開始希望月からの配信を約束するものではありません。入会及びデジタルサイネージ配信手続きの進捗により希望に添えない場合があります。

※デジタルサイネージの手続きについては「広島大学工学部後援会デジタルサイネージ事業ガイドライン」をご確認ください。

（関係書類）
・事業内容等の概要を記載した書類（会社概要など）

（送付先等）
住所 〒739-8527 広島市鏡山1丁目4番1号
広島大学工学部内 広島大学工学部後援会
連絡先 TEL 代表082-424-7529
広島大学工学部後援会